

## “見える化”から“効率化”へ——生産スケジューラ「Asprova APS」導入事例

1

思源電気股份有限公司第一分公司

# 明確な目標設定により、年間55万元のコストカットを実現

思源電気股份有限公司第一分公司は、配電業界向けのシステム解決ソリューションを提供しており、その技術は国際的な競争力を有している。生産スケジューラ「Asprova APS」導入に当たって、計画効率化やタイムリーな計画変更などの明確な目標設定を行い、年間55万元のコスト削減を実現した。同社計画供應課生産計画主管の董亜龍氏に話を聞いた。



思源電気股份有限公司の計画供應課生産計画主管の董亜龍氏

## ——生産スケジューラ「Asprova APS」導入のきっかけは？

「当社の主要システムはCADやOA、ERPなどで、システム間の融合性が悪く、一部の情報を共有できていなかった。また、ERPの運用も業務範囲に従って機能拡張が求められていた。生産管理が手作業のような状態では、複数かつ複雑な工程を管理できないため、APSシステムの『Asprova』を導入した」

## ——導入前はどのような問題が存在していたのか？

「対象製品は全部で13工程に関わっているが、各工程にそれぞれ制約条件がついて回る。ストローク量や面積、時間的制限など、手作業の生産管理では生産効率を上げることが難しかった。また、生産計画精度の低さから、欠品や過剰在庫、納期などが正確に判断できないなどの問題が日常的に発生していた」

## ——導入時に注意した点は？

「プロジェクトをキックオフした際に明確な目標を設定した。計画効率化、タイムリーな計画変更(特急オーダー)、前後工程と並行工程の連動、製造リードタイム短縮、資源の有効利用、負荷平準化、能力最大化など、改善すべき項目をピックアップした」

	問題点	改善点
納期	納期が経験で判断され不正確	明確に納期判断でき、顧客満足度が向上
時間	生産計画予測ができず、残業発生	ラインの負荷を平均化、毎週3時間の稼働時間減少
在庫	過剰在庫の発生	月間平均400万元の在庫を削減
人件費	生産計画担当が6～8名	3名で担当

### 【会社名】

思源電気股份有限公司第一分公司

### 【住所】

上海市閔行区金都路4399号

### 【従業員】

2000名以上(2010年)

### 【業務内容】

主力製品は電力自動化設備、気体絶縁金属密封組立電器、中高圧ブレーカ、中高圧スイッチ、中高圧センサー、中高圧隔離スイッチなど。電力設備基礎技術の研究開発で、多数の新製品や100件近くの発明特許を持つ。開発予算は売り上げの7%を占めている。



## ——導入後の具体的な効果は？

「生産計画が3人で担当できるようになり、人的コストが減った。また、月間平均在庫の約10%(400万元相当)の削減に成功した。金型利用率の向上、製造ラインの効率化による電気代などの削減もあり、合計で年間約55万元のコストダウンとなった(表参照)。この他にも間接効果として、納期が短縮されたことで顧客満足度が向上し、計画調整に柔軟性が増したことで生産管理者の執行力も上がった。また、長期生産計画での資材状況予測が可能になり、事前にボトルネック資材と過剰資材の対策がとれるようになった」

## ——今後はどのように運用していく予定か？

「既存ERPの補足として、生産計画を立案し、生産計画の進捗をベースに材料購買計画を立てていきたい。オーダー情報は既存ERPから取得し、『Asprova APS』とシームレスに接続する。『Asprova APS』からの作業指示を直接現場に渡して実行するなど、積極的な活用を予定している。また、未導入の工程へ展開し、効率的な生産管理を行いたいと考えている」

### 派程(上海)軟件科技有限公司 (アsproバ)

■上海市中山西路1800号兆豐環球  
大廈5樓B室

☎(021)6440-1023

🌐http://www.asprova.cn/

✉info@asprova.com (日本語)

info@asprova.cn (中国語)